

第22回ミニ相談会のお知らせ

第22回ミニ相談会を実施します。今回のミニ相談会では、いわき市放射線量低減アドバイザーの星 篤雄(ほし つたお)氏を講師にお招きし、原発事故前も含め、これまでいわき市内の放射線量がどのように変化してきたのか、現状はどうなっているのかをお話しいただく予定です。また、これからどのようなことに配慮していわきでの生活を送っていけば良いのかも、みなさんと一緒に考えていきたいと思っております。

お誘いあわせの上、初めての方もお気軽にご参加下さい。参加の際には事前のご予約が必要となりますので、当センターまでお問合せ下さい。

～第22回ミニ相談会テーマ～

「いわき市内の放射線量の変化と現状について」

講師：いわき市放射線量低減アドバイザー 星 篤雄氏

- | | | |
|----------|--|-------------------------|
| 【日時】 | 平成26年4月16日(水) | 10:30～12:00 |
| 【場所】 | いわき地域復興センター
〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 74-8 アドレスいわき中央ビル 1F | |
| 【問い合わせ先】 | いわき地域復興センター | TEL 38-7132 FAX 38-7134 |
| 【内容】 | 1. 講師の先生のお話 | 10:30～11:30 |
| | 2. 質疑・応答 | 11:30～12:00 |
| 【対象者】 | いわき市内在住の方 | |
| 【定員】 | 10名(※事前の予約が必要となります。) | |

参加費は
無料です

～お申し込み方法～

いわき地域復興センター窓口か、お電話(38-7132)またはFAX(38-7134)でお申し込み下さい。申込み用紙は、ホームページからダウンロードすることもできます。

※今後も、様々なテーマで相談会を実施する予定です。

いわき地域復興センターホームページ(URL:<http://revive-uwaki.net/>)でもお知らせいたしますので、ぜひご覧下さい。

第22回ミニ相談会 開催報告

- 【日 時】 平成26年4月16日（水） 10:30～12:15
【場 所】 いわき地域復興センター
【講 師】 いわき市放射線量低減アドバイザー 星 蔦雄氏
【参加人数】 10名（男性5名 女性5名）

今回のミニ相談会では、原発事故前も含め、これまでいわき市内の放射線量がどのように変化してきたのか、現状はどうなっているのかをお話いただきました。また、放射線測定器などを使いながら、放射線・放射能の基礎的な内容についてもお話いただきました。

<第22回ミニ相談会テーマ>

「いわき市内の放射線量の変化と現状について」

1. 講師の先生のお話

【1】放射能・放射線の基礎

- (1)放射線はどんなもの
- (2)放射線の発生と種類
- (3)放射性物質(放射能)の減り方

【2】いわき市の現状

- (1)身のまわりの放射線
- (2)放射線レベルの変化
- (3)いわきの放射線レベルの変化
- (4)外部被ばく線量を計算しよう
- (5)放射線量の積算線量の変化

【3】健康への影響

- (1)県民健康管理調査（行動調査）
- (2)食品の規制値
- (3)自家消費作物の状況
- (4)ホールボディカウンターによる体内放射線測定
- (5)海水浴における被ばく評価
- (6)放射線被ばくの影響

【4】除染の状況

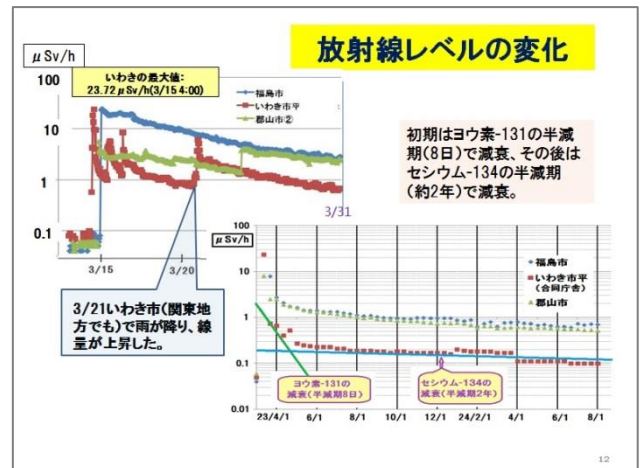
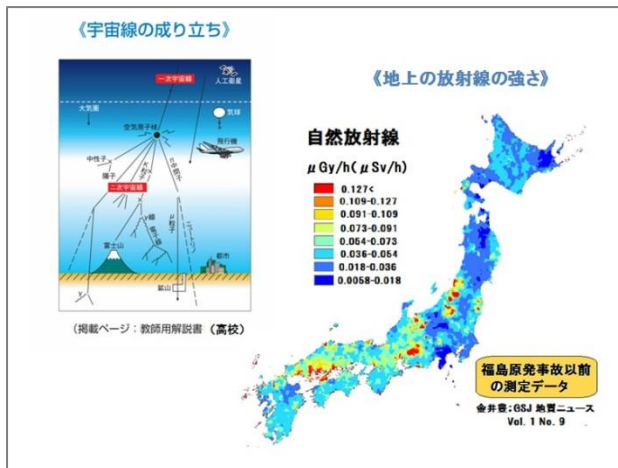
- (1)居住空間の除染



<講師：星 蔦雄氏>



<放射線測定器など>



<講師資料抜粋>

2. 質問コーナー・交流タイム

ミニ相談会の中で、講師の先生を中心に参加されたみなさんが普段感じていることや、生活の中で気になっていることなどを質問したり、自由に話し合ったりしました。その中で出た意見・質問等をご紹介します。

Q. 自宅で野菜を作っても大丈夫ですか？

A. 大丈夫だと思います。不安でしたら一応確認（測定）されると良いと思います。

Q. 自家栽培で作った野菜の放射性物質を取り除くにはどうしたらよいですか？

A. 震災後は作物の表面に放射性物質がついていたので、洗えばよかったです。現在栽培されているものについては放射性物質が中に閉じ込められている状態ですので、洗っても効果はあまりありません。ただ、茹でることで放射性物質を減らす効果があります。もちろん茹で汁は捨ててください。タケノコは茹でると放射性物質の量が半分くらいになります。

Q. いわき市で生活していくことは、将来どのような影響がありますか？

A. 状況は安定してきているので大丈夫だと思います。ただ、特別線量が高くて気になる所があれば、市の方に相談して下さい。

Q. 土壌の除染の仕方について

A. 削るしかありません。削ったものは集めておく。削った土を集めた場所は線量が高くなりますし、廃棄物が増えますから、むやみに土を削らない方がよいと思います。

Q. ワカメは大丈夫ですか？

A. まず、海の魚では海底魚から放射性物質が検出されていますね。ワカメから検出されているとはあまり聞きませんが、場所によっても違いますので、測定してみるのが一番よいと思います。

Q. 市内の学校はすべて除染されているのですか？

A. 学校の校庭、子どもたちが活動する場所はすべて除染されています。

Q. 米を作るとき、カリウムを撒くよう指導されていますが、今後も撒いた方がよいのですか？

A. カリウムはいずれにしろ必要な肥料ですし、カリウムを撒いて野菜が吸収すると、セシウムを吸収しづらくなるということで、カリウムを撒くように言われています。田を耕したり、水を流したりしているうちに線量は少しずつ下がっていきますので、非常に線量の高い地域でなければ状況を見ながら(田に撒くカリウムの量は)判断すれば良いのではないのでしょうか。ただ、カリウム不足はよくないです。

Q. ベクレルの単位の説明で、1秒間に1個放射線が出る量とありましたが、この放射線はα線、β線、γ線どれでも同じですか？

A. はい、同じです。1個と(資料には)書いてありますが、1秒間に1回原子が壊れて別の原子に変わる時に出る放射線量が1Bq(ベクレル)です。その時に、α線が出るか、β線またはγ線が出るかは、崩壊前の原子の状態によります。

Q. Cs137はバリウムに変わると説明がありましたが、Cs134は何に変わるのですか？

A. 同じくバリウムに変わります。ただし中性子の数がそれぞれ違ったバリウムになります。

～参加されたみなさま、お疲れ様でした～

第23回ミニ相談会は5月23日(金)10:30～

いわき地域復興センターで実施します！

興味を持たれた方は、窓口かお電話でお問い合わせ下さい。



<第22回ミニ相談会の様子>